

平成20年度第3回横浜市次世代育成支援行動計画推進協議会会議録	
日 時	平成21年1月22日（木）14時～16時
開催場所	松村ビル別館201会議室
出席者	伊志嶺美津子委員、井上美穂委員、岩倉憲男委員、岩永牧人委員、岩室紳也委員、岩本真美委員、奥山千鶴子委員、杉浦尚子委員、高橋勝委員、土山由巳委員、菱川広昭委員、藤川祥子委員、保坂シゲリ委員、八木下明委員、藤田譲治委員、屋代昭治委員、丸山修由教育次長（田村幸久委員代理）
欠席者	小林千恵子委員、渡辺久子委員、渡辺英則委員、上野和夫委員
開催形態	公開（傍聴者1人）
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・後期計画策定に係るニーズ調査の中間報告について ・後期計画策定の進め方について
決定事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査の分析方法について協議した。
<p>議事</p> <p>■後期計画策定に係るニーズ調査の中間報告について</p> <p>（事務局） 後期計画策定に係るニーズ調査の単純集計の結果について概要を説明。</p> <p>（藤川委員） 未就学児保護者の問21「子育てをされていて地域社会から見守られている、支えられていると感じるか」について、年齢別に分析していただきたいと思います。回答者の約3割が保育所を、約3割が幼稚園を利用していますが、これらを利用していない0～1歳の傾向を見ることで、産後うつや社会とのかわりか持てないという問題が見えてくるかと思えます。</p> <p>（岩室委員） このアンケートは前期計画の評価にもなると思えます。未就学児保護者の問20、前期計画では「子育てを通じ友人が増えた」が36.4%、後期計画では30.0%となっており、小学生保護者の問26でも、前期計画では50.5%、後期計画では約1割落ちて41.3%となっています。子育ては友人をつくるすばらしいチャンスだと思いますが、それがこれだけ落ちているのは深刻な状況だと思います。</p> <p>（井上委員） 回答のうち「その他」の割合が多いものが見受けられますが、これらの自由記載についても分析し、ニーズの把握につなげたほうがよいと思えます。</p> <p>○（杉浦委員） 未就学児保護者の問12「日ごろの子育てへの支援」について、14.4%が「いずれもない」と回答していますが、この理由を分析していただきたいと思えます。また、祖父・祖母との同居を聞いていますが、三世代同居の世帯と、父母とは同居せず祖父母のみと同居している世帯を分けて集計していただきたいと思えます。</p> <p>市民意識調査について、回答者の57.4%が50歳以上ですが、年齢別に分析し、世代別の考え方の違いを把握できればと思えます。</p> <p>（高橋会長） 「支えがある」とした人の割合に目が向きがちですが、支えがない人の状況をきちんと分析してほしいと思えます。</p> <p>（奥山委員） 未就学児保護者の問31-2「虐待しているかもしれないと思うときの状況」について、「子育てによる身体や精神の疲れが大きい」と回答した人が7割となっています。これらの人が緊急時ではなく、日常的に支えがあるのかどうか、家族形態や日常的なサポートの実態をきちんと分析していただきたいと思えます。</p> <p>また、市民意識調査で、今後子育て支援に関わりたい、子どもを一時預かってもいいという方がたくさんいらっしゃいましたが、機会を提供していくことが重要だと思ひ、希望が持てました。これも年齢別に</p>	

分析していただきたいと思います。

(菱川委員) 子育てをしていると、身体的・精神的な疲れだけでなく、出費がかさむという部分で経済的な負担も感じます。回答でも、妊婦健康診査を受診しなかった理由として「料金が高かった」が多くなっていますが、今後はこのような課題も出てくると思います。

(岩室委員) 妊婦健康診査について「あまり受診しなかった」「一度も受診しなかった」を合わせると1%以上の方が受診していないことになります。年間出生数3万3000人のうち、300人が受診していないということは、深刻な問題だと思います。思春期の子どもたちの中には、妊娠したことに気がつかない、生理がとまったことに気がつかない、要するに自分の体と向き合えない子が非常にふえています。望まない妊娠をして、当然、妊婦健診は行かないという状況が想像できますので、深刻な問題だと捉えて分析していただければと思います。

(保坂委員) 妊婦健康診査について「あまり受診しなかった」と「一度も受診しなかった」の間には大きな違いがあると思います。「あまり受診しなかった」の中には補助が受けられる回数は受診して、それ以上は受診しなかったという方がいらっしゃると思います。問題なのは、補助があり無料で受診できるにもかかわらず一度も受診しなかった人です。

また後日、単純集計の結果は、すべてデータを公表していただきたいと思います。

(伊志嶺副会長) 未就学児保護者の問38「保育サービスの利用」について、「特に利用していない」が41.1%います。未就園児が利用できるものは、選択肢の中ではベビーシッターやサポートシステムしかありませんが、41.1%の中に未就園児がどのくらいの割合でいるのか、これらの人がどういう状況にあるのかということ进行分析していただきたいと思います。

(丸山委員) 小学生保護者の問40-1で「放課後事業を利用していない理由」を聞いていますが、「利用したことがあるが子どもが行きたがらない」が非常に多くなっています。学年別に分析できると、おおよその理由が見えてくるかと思っています。

(岩倉委員) 同じ設問について、利用しない理由として「内容が充実していない」「学校の延長のようだ」「魅力を感じない」「子どもが行きたがらない」をあわせると50%を超えます。ここを分析し、今後の参考にしていきたいと思います。

(岩本委員) 全調査で世帯収入を聞いていますが、世帯収入別に分析すると、課題が見えてくるのではないかと思います。

(藤川委員) 区別にもクロス集計をしていただきたいと思います。360万人の大都市である横浜市全体の傾向からは、区の状況が見えてきません。また、区役所の担当者が活用できるような集計をしていただきたいと思います。

(事務局) 区ごとにクロス集計をする予定ですが、回収数からみて有意な結果が得られない可能性があると考えています。

(伊志嶺副会長) 小学生調査の問24「夕方5時以降は誰と過ごすか」で、きょうだいで過ごす、一人でのとした人が多く、親と一緒に過ごす人が少ないのが気になります。今後の検討材料になると思います。

(事務局) この設問だけでは、家に一人きりでののか、部屋で勉強するなど家の中で一人で過ごしているのか分かりませんので、問22「夕方5時以降、おうちの人が自宅にいるか」という質問とクロス集計をしたいと思います。

(藤田委員) 小学生保護者の問29「虐待をしているかもしれないと思うときがあるか」について、「ない」「ほとんどない」を合わせて8割を超えるという説明がありましたが、「ほとんどない」の解釈はあいま

いで、「少しはある」とも取れます。そう考えると、「よくある」「ときどきある」「ほとんどない」をあわせて約55%の人がいると答えていると読めます。分析にあたっては、設問の表現を考慮したほうがよいと思います。

■後期計画策定の進め方について

(事務局) 後期計画策定について、スケジュール、実施体制を中心に説明。

(岩室委員) 前期計画と同様に協働がひとつの重要な視点となると思いますので、協働を推進するための市民・行政の役割について協議する、などテーマを絞ったほうが、分科会での議論がより明確なものになってくると思います。

(事務局) 次回協議会で予定している、基本的視点の協議の中で議論いただきたいと思います。

(保坂委員) 分科会へは委員全員が参加するのですか。委員を増やすという説明もありましたが、一人ひとりの発言する時間が少なくなるのではないかと危惧しています。

(事務局) 人数が多いと議論しづらいこともありますので、例えば、テーマによって参加する委員を選択するなど工夫していきたいと考えています。

(岩倉委員) 青少年について、昨年7月に国から青少年育成大綱が示されています。国の施策の中の流れを踏まえた議論が必要だと思います。

(高橋会長) 後期計画は、妊娠・出産から始まって、少年期・青年期、次代の親となるまでの30年前後までのスパンで検討するため、いろいろな要素が入ってくると思います。単なる子育てだけではなく、一つの社会的展望としてどういう社会をつくっていくのかということを含めた議論になると思います。

(菱川委員) 理念は、より具体的な横浜らしい文言を示していただきたいと思います。「夢」などの単語ではなく、具体的に横浜の未来像を描き出せたらよいと思います。

また分科会ですが、保育園・幼稚園と妊娠・出産の分野の連携は今まで十分ではなかったと思いますので、分科会での議論に期待をしています。

(高橋会長) 次回協議会で、具体的な議論を進めていきたいと思います。では、本日はこれで閉会します。

資料	<ol style="list-style-type: none">1 次第2 ニーズ調査単純集計の概要<ul style="list-style-type: none">・ 子育て支援に関するニーズ調査（未就学児保護者）・ 子育て支援に関するニーズ調査（小学生保護者）・ 小学生基本調査・ 中高校生基本調査・ 次世代育成支援に関する市民意識調査3 調査票(確定版)
----	---